

万が一の「計画停電」に備えて

今年の夏、北海道電力では道内の電力不足が心配されるため下記の期間中の『節電』を呼びかけています。

また、万が一、この期間中に電力が足りなくなったときは電力を節約するための緊急の措置として、道内のいくつかのグループごとに順番に停電をする『計画停電』を行うこととしています。

『計画停電』が万が一実施されたときに備え、次のことに注意しましょう。

《節電(計画停電)対象期間》

平成24年7月23日(月)～平成24年9月14日(金)

土曜日・日曜日は対象となりません。

8月13日～8月15日までの期間は対象となりません。

「計画停電」は万が一、発電所の故障などで道内の電力が不足したときに北電が事前に予告をして行う緊急の停電措置であり、通常は行われません。

停電の備え

「節電」に努めましょう。

計画停電は道内の電力が不足しない限り実施されません。計画停電を防止するためにも節電に努めましょう。

自分の「計画停電グループ番号」を確認しましょう。

自分の家庭が計画停電の対象となっているかを表す北電の「計画停電グループ番号」を事前に確認しておきましょう。

懐中電灯やラジオを準備しておきましょう。

停電になったときに備えて懐中電灯やラジオを準備しておきましょう。

携帯電話の充電を忘れずに。

停電になると家庭の固定電話やFAXが使えなくなるので、携帯電話をお持ちの方は日ごろから充電をしておきましょう。

自宅で医療機器をお使いの方は。

自宅で人工呼吸器や酸素濃縮器をお使いの方は網走保健所で緊急相談窓口を設けていますので事前に相談しましょう。【相談窓口：0152-41-0683】

網走市地域福祉会議


(作成：網走市社会福祉協議会)

停電になったときは・・・。

停電中に特に注意してほしい5つのこと

ガスを使わない。 


停電中はガス漏れ警報器や換気扇が動かなくなる場合がありますので、ガス漏れに気が付かず火災や中毒の原因になります。停電時間中のガスの使用は控えましょう。

火災に注意！ 

特に夜間の停電中に照明がわりにろうそくを使うと火災の原因になるので、室内での火の使用は極力避け、懐中電灯などを使いましょう。また、火災防止のため、アイロンやドライヤーなど熱の出る機器のコンセントは抜きましょう。

外出はひかえる。 

停電中は信号機が止まる場合があり、特に夜間は街灯や家屋の明かりが消えて周囲が暗くなるので交通事故や犯罪に遭う危険が高くなります。停電中は家の鍵をかけ、外出は極力ひかえましょう。

熱中症に注意！ 

停電によって扇風機などの冷房機器が使えなくなり、熱中症や脱水症になる可能性が高くなります。うちわの使用やこまめに水分を取るようにしましょう。

緊急の連絡は。 

停電中は固定電話やFAXが使えなくなることで救急や緊急の連絡ができなくなります。停電時間中の緊急連絡は携帯電話や公衆電話を使うか、隣近所にお問い合わせしましょう。

網走市防犯協会では、停電時間中に停電している地区を青色の回転灯を点けた車両で見回りをすることとしています。緊急連絡が必要なときに青色回転灯を点けた車両に依頼すると対応してくれます。